

「吉小美術館」開館！～心動かすキャプションづくり～
教材『鳥獣戯画』を読む 高畑 勲 文
「この絵、私はこう見る」

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

第6学年1組 男子12名 女子11名 計23名

研究主題

対話を機能させ 考えを深める学びづくり
～ 言葉による見方・考え方を働かせ、学び合いのある授業を通して ～

1 単元観

【学習指導要領との関連】

本単元は、小学校学習指導要領における国語科第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の指導事項「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかき読みすること」を受けて設定した。

【本教材の特性】

本教材の特性として大きく2つ考える。

- ①筆者から見た『鳥獣戯画』の見どころやすばらしさが表現されている。筆者が絵の何を取り上げ、どこに目を向けてどのような言葉で説明や解説をしているかに着目することで、筆者のものの見方をとらえることができる。また、筆者のものの見方に対して自分の考えを明確にして読むことで、人によってさまざまなものの見方や感じ方があることに気付くことができる。
- ②アニメーターである筆者ならではの、躍動的で親しみやすい語りかけの文章表現が多く、読者に『鳥獣戯画』の魅力伝える工夫がなされている。そのため、感じたことや読み取ったことを伝える際には表現方法を参考にすることができる。
以上の特性を生かし、本単元では教材文から筆者のものの見方をとらえるとともに、表現の工夫を生かして、自分のものの見方で絵画の魅力伝えるキャプションづくりの学習活動を設定した。

2 児童観

【既習単元での実態】

本学級の児童は、これまでに筆者の主張に対する自分の考えをもつ学習活動を行ってきた。その際多くの児童が文章構成や述べ方、筆者の挙げた事例に対して自分の考えをもつことができた。しかし、考えやその表現の仕方が友達と類似したり、考えが固定的になったりする児童もいた。

【学力調査結果】

昨年度実施した標準学力調査では、「説明文の内容を読み取る」という項目において、19%の児童が正答率4割未満であることから、文章の内容を的確に押さえて読むことに課題があるといえる。

【対話を機能させた学びの実態】

国語科アンケートでは、全ての児童が「ペアやグループ学習を取り入れた方がよくわかる」と答えており、学び合いが課題解決に生かされている。

【分析】

これらのことから、本学級の児童には、文章の内容を的確に押さえて読むことを丁寧に行いながら、説明文を読み取ることが必要である。また、人によってものの見方が異なるということを知り、その良さやおもしろさを味わいながら、自分なりのものの見方を大切にして、自分の考えを表すという学習経験が必要である。

3 指導観

(1) 単元全体を通して

本単元では、特に以下の2点に留意して指導を展開する。

- ①名画のよさを的確に伝えることができるキャプションを作成するという言語活動を通して、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえる力を育成していく。そのために、自分で選んだ名画についてのキャプションづくりに本教材の読み取りを生かすということを常に意識させ、筆者の主張に戻りながら、表現とその効果をとらえていくことができるようにしていく。
- ②事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかき読み力をつけるために、絵のどの部分をどのようにとらえ、それをどう表現しているのかを読み取っていく活動を丁寧に行う。その際、筆者の主張のどの部分を伝えるためにその事実を取り上げたのかという点を意識させ、自分のキャプションを作成する時に取り上げる事実をより適切なものにすることができるようにする。

(2) 学習に用いる言葉・表現・語彙

学習に用いる言葉

筆者 文章構成（頭括型，尾括型，双括型） 段落 「問い」と「答え」 要旨
 着眼点 表現 評論 推敲 読み解く 評価語 キャプション

着目させたい表現・語彙

絵の解説と解釈の違い 評価語（直接的な表現 感情が表れ読み取れる表現）

(3) 対話を機能させる学び合いに向けた手立て（聴く・つなぐ・もどす）

- 目的意識をもって，考えとその根拠を明確にしながらか聴く必要性のある活動場面を設定する。
- 自分の考えを明確にし，それと比較しながら友達の意見を聴くことで，同じ点や違う点の明確な意見をもたせて，考えをつなぐ。
- 個や集団の考えが深まっていく過程においても，常に教材文にもどして，考えの根拠を明らかにしながら対話を重ねることで，自分と違う見方や考え方に触れることを通して読みを深めていく。

4 単元の目標

- 『鳥獣戯画』などの絵画に興味をもち，自分の考えをもって読んだりまとめたりしようとする。
【国語への関心・意欲・態度】
- 絵と文章を対応させながら，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，筆者の主張に対する根拠を探る活動を通して，主張と根拠の関係をとらえることができる。
【読むこと(1)ウ】
- 呼びかけや疑問，応答を表す文，感動や感嘆を表す文の効果的な使い方を理解することができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)】

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
イ 「自分の課題を解決するために，意見を述べた文章や解説の文章などを利用する言語活動」を通じた指導		
○ 絵画の評論をするために視点を得たり，効果的な表現の仕方を知るために文章を読んだりし，情報を多面的に収集しようとしている。	○ 絵と文章を対応させながら，事実と感想，意見などとの関係を押さえ，筆者の主張に対する根拠を探る活動を通して，主張と根拠の関係をとらえている。	○ 語感，言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもち，優れた表現を抜き出すことができる。

6 本校で育成したい資質・能力

	資質・能力	めざす姿
スキル	課題発見・解決力	「吉小美術館」開設のために，選んだ絵について自分の考える「よさ」が伝わるキャプションを書くという目的に向かって，教材文から筆者の思いを受け止め，それを表現する教材文の工夫を見つけ，自分のキャプション作成に生かしている。

7 単元計画

(1) 単元構想図

「吉小美術館」開館！ ～心動かすキャプションづくり～ 教材「『鳥獣戯画』を読む」 「この絵、私はこう見る」

課題の発見・設定 (1)

- 「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」で学習したことは使えるかな。
- 筆者はどんな考えをもっているのだろう。
- 事実と考えの関係はどうなっているのだろう。
- 筆者の意図と表現の工夫の関連を考えてみよう。
- 同じ絵を見ても、読み方は変わるのだろうか。



絵画のキャプションを書くために、「絵を読み解く」筆者の工夫を読み取ろう！

筆者は、絵画をどのように読み、それをどんな工夫で伝えているのだろう。

情報の収集 整理・分析 (7)

「『鳥獣戯画』を読む」

筆者は、絵のどの部分を取り上げ、何に着目し、どう評価しているかについて、筆者の思考を想定する。

評論文としての、表現や構成の工夫について、ペアやグループで話し合いながら、その効果をまとめる。【本時】

「『鳥獣戯画』を読む」について、筆者の考えと対応させながら、自分の考えをまとめる。

『鳥獣戯画』のキャプションを書いてみて、本文と比べる。

「この絵、私はこう見る」

絵を見て気づいたことや感じたことを「『鳥獣戯画』を読む」の学習を生かして整理し、書くことの本質を決める。

表現の効果を工夫して、キャプションを書く。

まとめ・振り返り (2)

【図工科】



- ① グループ交流を通して、自分の読み取りを広げたり深めたりして、自分のキャプションを仕上げる。
- ② 完成したキャプションを互いに交流し合うことで、絵画のいろいろな見方を味わう。
- ③ 「吉小美術館」開館

(2) 指導計画 (全10時間)

次	時	・学習活動 資質・能力の重点	評価観点			◇評価規準 (評価方法)
			関	読	言	
第一次	1	・学習前に『鳥獣戯画』を見て自分なりのキャプションを書き、自分がキャプションを書きたいと思う名画を選ぶ。 課題発見・解決力	◎			◇絵のよいと思う点を書くことに意欲的に取り組んでいる。(行動観察・ノート) ◇題名の「…を読む」に注目して、本文の内容を予想している。(行動観察・ノート)
	2	・教材文を読み、文章構成と筆者の主張を大まかにつかむ。		○		◇文や文章にはいろいろな構成があり、書く目的に応じた構成がなされていることを理解している。(行動観察・ノート)
第二次	3	・漫画やアニメの祖と言われる理由に関する筆者の見方を把握する。		○		◇筆者の評価(考え)とそれを伝えるために取り上げている部分(事実)を対応させて、文章を読み取っている。(ノート・ワークシート)
	4	・絵巻の筋に関する解釈をした筆者の思考を想定する。		○		◇前時の学習を生かして、事実と感想との関係を押さえて読みながら、感じたことの共通点や相違点を明らかにし、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ノート・ワークシート)
	5	・絵を評価した表現の工夫に着目し、筆者の思考を想定する。		○		◇筆者の意図と説明の工夫との関連について意識しながら、筆者のものの見方・考え方をとらえている。(ノート・ワークシート)
	6本時	・考えを効果的に伝えるための表現や構成の工夫について考える。 課題発見・解決力		◎	○	◇表現や構成の工夫について話し合い、その効果をまとめている。(行動観察・ワークシート) ◇語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもち、優れた表現を抜き出すことができる。(ワークシート)
	7	・筆者が伝えたい、絵巻物の歴史的価値や意義を伝えようとした筆者の意図を想定する。		○		◇絵巻物の歴史をまとめ、筆者が考える「日本文化の特色」をとらえている。(ノート・ワークシート)
	8	・「名画」から読み取ったことをグループで話し合う活動を通して、より効果的な表現の仕方を考える。		○		◇教材文で学んだ「事実」と「考え」、「表現の工夫」を意識して、自分の選んだ「名画」のよさを見つけ、キャプションシートを書いている。(キャプションシート)
第三次	9	・「名画」から読み取ったことをキャプションに表す。		○		◇評論シートをもとに、「名画」から読み取ったことについて表現の工夫をし、キャプションに表す。(ワークシート) ◇書く目的に応じた文章構成について理解している。(ワークシート)
	10	・キャプションを仕上げ、名画から読み取ったことを交流する。 課題発見・解決力		○		◇友だちのキャプションを鑑賞し、友だちの絵画の見方を楽しむことができる。(ワークシート)

8 本時のねらい

(1) 本時の目標

- ・考えを効果的に伝えるための表現や構成の工夫について考えることができる。

【読むこと(1)ウ】

(2) 本時の評価規準

- ・表現や構成の工夫について話し合い、その効果をまとめている。

(3) 準備物 ・(指導者用) 教材文 ・(児童用) 絵, 教材文, ワークシート

(4) 学習の展開 (本時 6/10)

分	学 習 活 動 ○主な発問や指示 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 ◆配慮を要する児童への手立て	◇評価規準 (方法) ★資質・能力
5	1 既習の確認をする。 ○前時の学習を振り返ろう。 ・絵の説明と筆者の評価が混ざっていた。 ・筆者は想像したり感じたりしたことを伝える言葉を、たくさん使っていた。 2 本時の学習課題の確認をする。 ○高畑さんは、『鳥獣戯画』の素晴らしさを読み手に伝えるために、どんな工夫をしているのだろう。	☆前時までの学習を想起できるよう、掲示物を用意する。	
【めあて】『鳥獣戯画』の素晴らしさを伝えるための筆者の工夫は、どのような効果があるのだろうか。			
10	3 観点をもとに、表現や構成の工夫をノートにまとめる。 ○筆者は、自分の見方を伝えるために、どのような工夫をしているだろう。そして、その工夫はどんな効果をもたらしているだろうか。 ・①短い文が続き、調子が良い。 ・②筆者の強い思いが感じられる。 ・③パラパラ漫画と同じように、アニメーションを実感できる。 ・④漫画やアニメとの共通点が多い。 ・⑤読み手と筆者と一緒に絵を見ている感じになる。	☆①書き出しの工夫②文末の工夫③絵の出し方 ④絵巻物の説明に、漫画やアニメを出した理由⑤その他の工夫などについて、まずは工夫を見付け、その後、観点別に整理できるようにする。 ◆①～⑤の中で、自分の考えやすいところから始めてよいことを伝える。 ◆最初に自分が書いたものと、違うところに視点をもつことで、筆者の工夫として見つけられるようにする。	
13	4 表現や構成の工夫とその効果について、考えたことをグループで交流する。 ○ノートにまとめたことを、グループで交流しよう。 ・何ページの何行目にこんな表現があるよ。 ・このように表現することで、高畑さんが伝えたい〇〇なことが、～なふうに伝わってくるよ。	考えを深める対話 ☆それぞれが見つけた表現や構成の工夫を出し合い、交流する。その後、学級全体で交流する。 ☆「⑤その他の工夫」として、似た表現(「筆運び」と「筆さばき」,「自由闊達」と「自然でのびのび」「何物にもとらわれない」など)はあるか、それはなぜかを問うことで、語句と語句との関係にも目を向けられるようにする。	◇表現や構成の工夫について、話し合い、その効果をまとめている。 (ワークシート・行動観察)

12	<p>5 表現や構成の工夫を学級全体で話し合う。</p> <p>○グループで話し合ったことから、自分の考えたことを発表しよう。</p> <p>・高畑さんは○○な工夫をすることで～～な効果があった。わたしもこういう工夫をしてみたい。</p>	<p>☆表現や構成の工夫だと思うところにサイドラインを引かせたり、書き込みをさせたりする。</p> <p>☆それぞれの表現の工夫が互いに結び付いて、文章全体としてどんな特徴が生まれているかをまとめる。</p> <p>☆自分がキャプションを書きたいと選んだ「名画」のよさを伝えるために、どのようなことを参考にできるか考えさせる。</p>	★課題発見・解決力
<p><本時でめざす子どもの姿></p> <p>※筆者のさまざまな表現や構成の工夫を見付けることができ、その効果について自分の考えを持つことができる。</p> <p>①書き出しの工夫⇒短い文。調子がよく感じる。リズム感がある。実況中継のようだ。</p> <p>②文末の工夫⇒筆者の強い思いが伝わる。想像させる。イメージができる。</p> <p>③絵の出し方⇒時間の流れを説明。アニメーションの実感。</p> <p>④漫画やアニメを出した理由⇒読み手が身近に感じる。</p> <p>⑤その他⇒読み手に話しかけるような言葉を使っている。</p>			
<p>【まとめ】</p> <p>筆者は書き出しや文末に工夫をすることで、絵の素晴らしさを伝えたいという強い気持ちを表しており、自分も気持ちが伝わる効果をねらって表現を工夫したい。</p>			
5	<p>6 本時を振り返り、次時の見通しをもつ。</p>	<p>☆話し合っ、新しく気が付いたことや、さらに考えたことなどをノートに書かせる。</p>	

(5) 板書計画

